

令和6年度 施設自己評価結果報告書

学校法人蒲原学園
清水やぐらこども園

1. 本園の教育目標

目指す子どもの姿

- ・健康で明るい子
- ・心豊かな子
- ・自分の考えを持ち主体的に活動できる子
- ・体を鍛え、粘り強い子
- ・適応力を身に付けて協調性に富んだ子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画・結果

目標：心身ともに健やかな育成のため、豊富な経験を通して何事にも取り組む意欲を身に付ける

計画：行事運営のノウハウが蓄積できた事で、スムーズで安全な行事運営ができた。

結果：子どもたちに楽しい時間を提供でき、園生活を充実したものにできた。

3. 令和6年度の報告

開園から6年が経ち、園運営にも安定感が感じられた。未就園児イベントを定期的で開催したことで、認知度も上がり、来年度新入の園児は全て当園を第一希望としてもらえた。

キャリアアップ研修・園内研修を実施し、継続して職員の資質向上に努め、安全で適切な保育が提供できるような成果を得る事が出来た。

熱中症警戒アラートが出る日が多くなるなど、新しい行動基準が必要になる環境の変化が顕著になっている。管轄機関とも連携し、情報収集をこまめに行うことで新しい対応をすることができた。

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み内容及び評価理由
感染症対策の徹底	B	感染症が広がる事があったが、園での環境整備や保護者へ呼びかけるなどして、大きな広がりには防げた
職員の資質向上の促進	A	今年度は特に「安全」に関する研修を行うことができ、職員の意識も高まった。
保育環境の向上	B	おもちゃ・教材の購入・絵本の新規購入が進み、子どもたちへ楽しさを提供できた。

※評価基準 A：充分達成 B：達成 C：成果が不十分 D：取組が不十分

5. 今後取り組むべき課題

研修などに行くと、新しい時代の保育について話を聞く事が多い。価値観や多様性を尊重した保育を実践するために、新しい視点を持ったカリキュラム作成が必要となってくるのではないかな。

6. 園関係者からの評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められました。

7. 財務状況・会計監査について

公認会計士による会計監査により、会計が適性に処理されていると認められました。

8. 静岡市による私立こども園監査について

文書による指摘事項はありませんでした。